

2014年衆議院議員総選挙および2015年統一地方選挙
開票事務調査 調査概要

■ 調査対象選挙

- ① 2014年12月14日執行 第47回衆議院議員総選挙
- ② 2015年4月12日執行 第18回統一地方選挙：道府県議会議員選挙

■ 対象自治体

- ①～②ともに全自治体

■ 調査方法

都道府県選挙管理委員会にとりまとめを依頼し、回答を入手

■ 調査日時

2015年6月20日～2016年1月24日

■ 有効回答数

- ① 衆議院議員総選挙 : 市区 931 投票区／町村 908 投票区
- ② 道府県議会議員選挙 : 市区 528 投票区／町村 435 投票区

※自治体内で選挙区が分かれているものも含む。

※市区には政令市の各区も含む。

■ 指標に関して

▶ 開票所要時間

開票開始時刻から開票終了時刻までの所要時間

▶ 効率性（1人1分当たり処理票数）

投票総数と開票事務従事者数を考慮した、開票事務の効率性を測る指標

(計算式) $効率性 = 投票総数 \div 開票事務従事者数 \div 所要時間(分)$

■ 備考

※東京都、および大阪府は両調査とも未回答。

※統一選で県議会議員選がなかったのは、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、沖縄県。

その他、無投票の選挙区は含まれていない。